



原水爆禁止 2014 年世界大会
激励メッセージ

ここに、原水爆禁止 2014 年世界大会が開催されますこと、また長年にわたり、「核兵器のない世界」の実現に向けて活動を展開されておられますことに対しまして、心から敬意を表します。

申すまでもありませんが、昭和 20 年に広島そして長崎の地で、我が国は世界で唯一、原子爆弾による甚大な被害を受け、多くの人命が失われました。このような過ちが二度と起こらないよう、後世に戦争の悲惨さを伝えるとともに、恒久平和を希求することが私たちに与えられた使命であると考えています。

本市では、平成 18 年に市議会において「非核平和都市宣言」が議決されており、平成 22 年には「平和首長会議」に加盟して、平和行政の推進に取り組んでいるところです。

現在、核を巡る国際情勢は、2015 年の NPT 再検討会議に向けた第 3 回準備委員会が開催され、「核兵器のない未来」へと確実に動いています。また、東日本大震災に伴う福島第 1 原発事故により、被爆に対する国民の新たな関心が生まれ、多くの議論が交わされています。

こうした中で行われるこの大会は、世界に広がる核兵器の廃絶、平和の流れをさらに広げ、核兵器全面禁止の「平和の波」となり、私たちを「核兵器のない平和で公正な世界」へと導いてくれるものと確信しています。

終わりに、大会が成功裡に終了し、所期の目的を達成されることを祈念して、激励のメッセージといたします。

平成 26 年(2014 年) 8 月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

山口県山陽小野田市長 白 井 博 文

